



しよれと



since2000
地域によるこびの
種をまく

1
2022 January
vol.257

あけまして
おめでとう
ございまして

特集 JA岡山ニュース総集編2021

農を担う
米麦農家 岡 雅典 さん
政津地区……………16ページ

今月の折り込み

廃棄農薬・農薬空容器・肥料空袋、園芸用廃棄
ビニール・ポリ等の回収についてのご案内

ほか

楽しい家庭園芸

2022.1

お問い合わせ先
営農部指導課
Tel.086(225)3224

野菜

コマツナは栽培しやすい品目です



営農部指導課
宮本 大輔

●コマツナ

コマツナは東京都小松川地方にあった葉物野菜の一種で柔らかく味がよい。ため全国に広がり、栽培は比較的容易で、暑さ寒さに強く1年中栽培しやすく、生育適温は15℃～25℃ですが、5℃でも生育でき0℃前後でも枯死することはありません。トンネルやべた掛け栽培で冬季に栽培できます。ぜひ家庭菜園に取り入れたい品目です。

●品種選び

栽培しやすい品種は、楽天や菜々子等です。コマツナは低温期の播種では、低温に一定期間遭遇することにより、花芽が形成され温度の上昇とともに、とう立ちする場合があります。冬や春先に播種をした場合はビニールトンネルで保温して、生育を促進させます。また、花芽が上がつてくる前に早めに収穫します。

●畑の準備

播種2週間くらい前に10平方メートルあたり堆肥20kg、石灰1.5kgを施して深く耕し、播種1週間くらい前に化成肥料(野菜いちばん)1.5kgを施し、充分混ぜておきます。

●播種

播種後の生育日数は(高温期25℃～30日、低温期60日以上)時期により生育期間が異なるので、少面積を複数回計画的に播種するようにしましょう。

畝幅1.0～1.2m、株間15～20cm、4条植えとします。15～20cm間隔に溝を切り、種子を1～2cm間隔でムラなく播種をします。覆土は1cm程度行つて灌水を行い、発芽促進と生育をそろえるため、播種後不織布をべた掛けします。

低温期の播種はトンネル栽培、3月以降は不織布のべた掛け栽培で行います。生育や温度に注意して、トンネルの換気や不織布の除去を行います(資料1)。

●間引き

1回目の子葉～本葉1枚目ごろ株間2cm程度に抜きとります。その後本葉2～3枚ごろに2回目を行い最終的に株間4～5cm程度にします(資料2)。

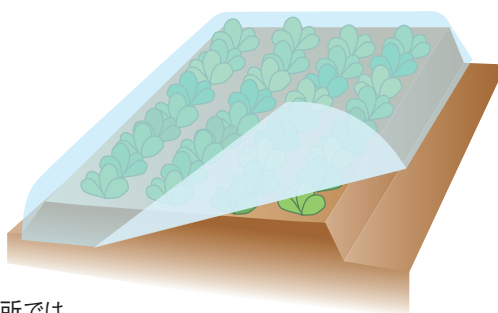
●追肥・中耕

基肥のみで栽培しますが、生育の状況をみて灌水を兼ねて液肥5000倍を散布します。除草を兼ねて畝の表面を軽く中耕(通気性をよくする目的で浅く耕す作業)をしましょう。

●収穫

必要な量だけ間引き収穫をしてもよいですが、草丈が20cm程度を目安に収穫をします。温度の上昇とともに、生育が一気に進むので早めに収穫をしましょう。

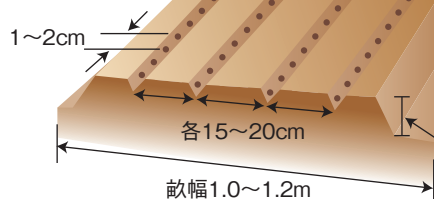
不織布のべた掛け栽培



排水の悪い所では畝を高くします

資料1 播種・畝

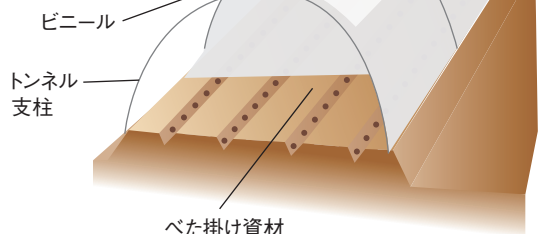
覆土後、板などで軽く鎮圧して、土壤水分が逃げないようにする



トンネル栽培

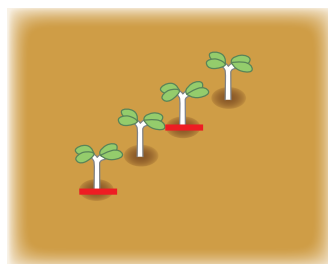
低温期の栽培では、トンネルやべた掛け資材などで保温しないと、大きくなる前に早期にとう立ちする恐れがあります。本葉4枚くらいまでは、5℃以上を目安に管理するようにしましょう

晩秋～早春播種ではトンネルで保温する



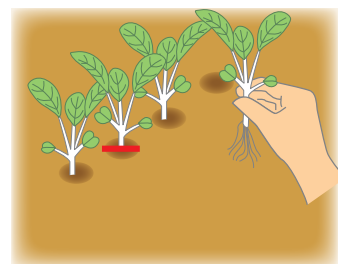
資料2 間引き

1回目 子葉が開いたとき



株間2cm程度に

2回目 本葉2～3枚のとき



株間4～5cm程度に

花き

ゴムノキは
育てやすい
観葉植物です



営農部指導課
中川 雄一

寒い冬はシクラメンやポインセチアなどの華やかな鉢花、そして比較的寒さに強いプリムラ類やビオラなどの草花が主役になります。

地味な存在ですが、今回は観葉植物から、古くて新しい「ゴムノキ」。

昔から玄関や縁側に大きな鉢があったな！とか、病院で注射されたとき大きな葉っぱの鉢物がそばにあったとか、珍しくもない樹でした。

最近ではあらためて「フィカス」と呼ばれる観葉植物の一つとして再注目されることもあります。フィカスとは、ゴムノキを含むクワ科イチジク属の植物で、ベンジャミンやガジュマルもその中に入り、園芸店に行くとさまざまな品種、仕立ての鉢が展示されていて、見るだけでも楽しいものです（資料3）。

昔からあるゴムノキは「インドゴムノキ」といい、「フィカス・リテイネケ」「ベリズ」「デコラトリカ」「等々さまざまな品種があります。中には「フィカス・バーガンデー」のように赤みの強いシツクで落ち着いたイメージのものもあり、冬の彩りにおもしろい素材です。インドからマレー半島の原産地では30センチにもなる強健な樹で、暑さに強く、比較的寒さにも耐えます。

その生命力から花言葉は「永遠の幸福」インドでは神聖な樹とされ、贈り物にも好適です。

●特性

暖かい環境を好みますが、観葉植物の中では耐寒性もある方で、5℃程度の保温で冬越しできます。

日陰でも育ちますが、明るいところが好きで、斑入り品種などは日照不良では発色が曖昧になります。

水も必要ですが、排水性のよい土壌が適します。

●冬の管理

置き場所はできるだけ陽当たりのよい屋内で、通気よく混み合わないようによします。他の鉢物と同様、エアコン、ヒーター等の風が直接当たるところは乾燥しやすく、温度の変動も大きくなるので避けます。

水やりは鉢土の表面が乾いてからですが、冬は生育が停滞しているうえに、思った以上に鉢内の水保ちがよいので、さらに1〜2日待ってやるくらい（置き場所や鉢の大きさに適当だと思えます。やる時には鉢底に出るくらいやって、受け皿に溜まった水は捨てます。

また、高温多湿を好むことから、時々霧吹きで葉水をかけ、葉の裏側にもかけるようにすれば、ハダニの発生抑制効果も期待できます。

肥料はあまり要らない方ですが、春から秋の気温が上がった期間に緩効性の置き肥を効かせれば旺盛に生育します。低温期は控えます。

●春からの管理

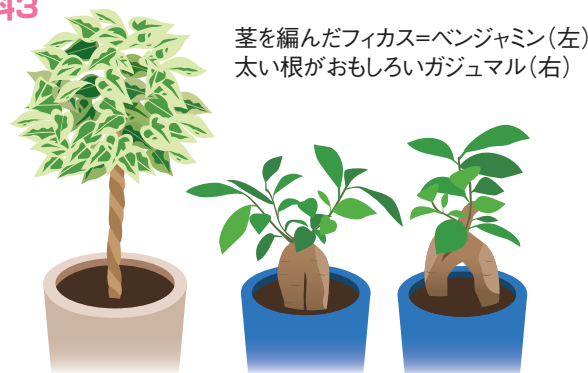
気温が上がってくると生育期に入ります。日照を好むので初夏には風通しのよい屋外に出します。冬に比べてはるかに強光ですから、葉焼け防止のため徐々に出していき、夏は明るい半日陰での管理がやりやすいでしょう。冬とは反対に水切れしないよう注意しましょう。

・植え替えと増殖（5〜7月）

株が大きくなったら根詰まり防止のため、一回り大きめの鉢に植え替えましょう。観葉植物用土か、赤玉土と腐葉土などを混合した通気良好な土を使います。鉢底に軽石等をお忘れなく。

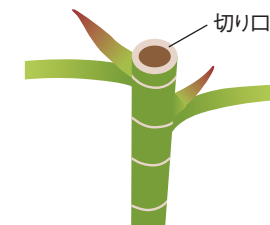
株を抜き取ったら、根鉢を3分の1程ほぐし、傷んだ根を取り除き、新しい用土を入れた鉢の中央に置きます。隙間ができないように用土を入れ、しっかり灌水します。

資料3



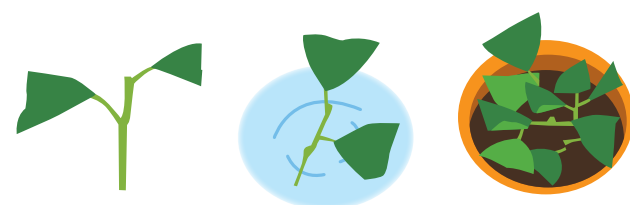
資料4

節（葉が出ているところ）の上でせん定し、芽が伸び始めた（上の芽がより強く伸びる）



資料5

葉を1〜2枚、さらに大きさを半分に切り、すぐに水に浸ける。白い液が出なくなったら、切り口にルートン等発根促進剤を着け用土に穴を開けて節が埋まる深さに挿し、たっぷり灌水する



・せん定・挿し木

数年放任すると樹形が乱れるので、伸びすぎた枝を切り戻し、その枝を挿し木して増やすことができます。

残した節から新芽が出ます。その後芽が伸びる姿を想定して芽を伸ばし、たい節の少し上で切り取ります（資料4）。切った枝を10センチ程に切り分け、葉は1〜2枚にし、さらにその葉を半分ほどに切り詰めます（資料5）。

枝の切り口の白い乳汁が着いたままでは発根不良になるため、水に浸けて洗い流すとともに水あげをします。葉の切り口からも乳汁が出るので、ゴム手袋を使って作業しましょう。これを清潔な細粒の赤玉土や鹿沼土に挿し穴を開けて挿し、遮光下（明るい日陰）で管理します。

果樹

整枝・せん定
について紹介
します！



営農部指導課
武田 祐一

今月は桃を植え付けてからの整枝・せん定について紹介しますので参考にしてください。

●桃の結果習性について

昨年伸長した枝には徒長枝や短果枝等、いろいろな強さ（長さや太さ）の結果枝ができています。果実をならすためには中果枝（10〜30センチ）が適しています。特に清水白桃や白麗等の生理的落果の多い品種は短果枝に品質のよい果実が着果します。また、果実をならせる花芽よりも枝となる葉芽の残し方が樹の生育に大きく影響します。

新梢の先端には必ず葉芽があります。が枝の途中には花芽だけで葉芽が無い場合がありますので、切り返しせん定をする時には必ず葉芽があることを確認して行わなければなりません。特に主枝・亜主枝の切り返し時には伸ばしたい方向の葉芽を確認して切り返します。

腋芽は、単芽と複芽があり、単芽には葉芽または花芽があり、複芽が2芽のとき花芽と葉芽がそれぞれ1芽ずつ、3芽の場合は中央が葉芽であることが多くあります（資料6）。

結果枝別にみると、長果枝は頂芽に葉芽、基芽には単芽の葉芽をつけ、中間は複芽となります。中・短果枝では頂芽は葉芽ですが、基部は花芽が多くつきます。中間の複芽も花芽だけの場合が多くなり、中・短果枝を切り返すと枯れ枝となりますので、頂芽が欠損しているときのみ葉芽を探し、その上まで切り返します。

長果枝以外の枝は果実をつけても、単独では葉数が不足し、果実を養うことができないので短果枝群として扱い、3〜4本の短果枝に1果程度着果させるつもりで残します。

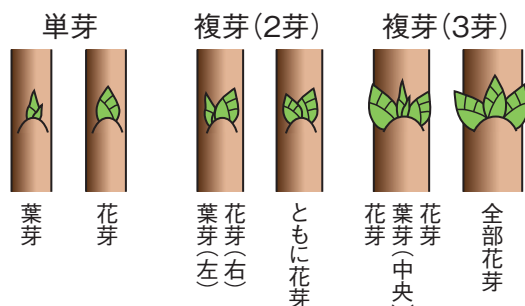
結果枝の勢力は、品種、樹齢、整枝法、土壌の肥沃度等で異なります。間引きせん定を中心に、切り返しせん定を併用し、長果枝、中・短果枝を上手に使うことがよい結果となります。

●桃のせん定

開心自然形は従来から行われている整枝法で、2〜3本主枝が一般的です。最近では、3本主枝はなかなか均等に120度ずつ主枝が取りにくいので、2本主枝が主流となっています。ここでは2本主枝整枝法を説明します。

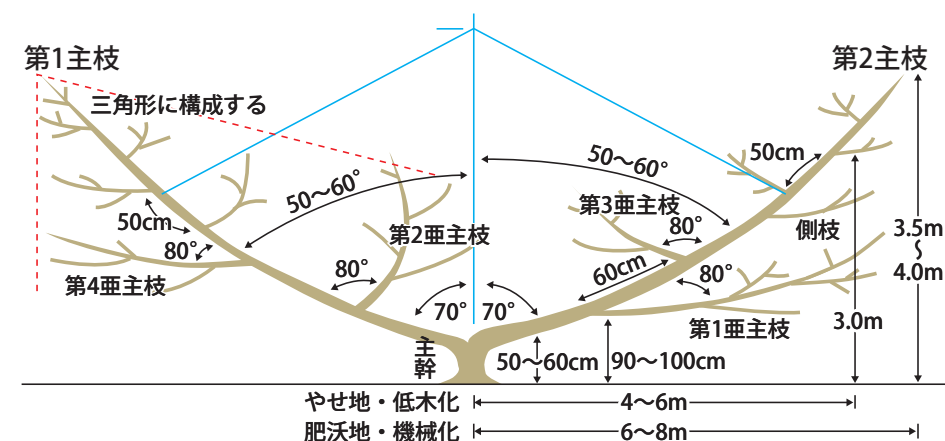
苗木の植え付け時には、接ぎ木部から30センチ程度の葉芽の上で切り返し、苗木が風で揺れないよう支柱に誘引していることと思います。植え付け1年目のせん定時には切り返しをした所の葉芽が最も強く伸び、第2主枝として利用するのですが、乾燥や芽欠けにより下部より発生した新梢

資料6 桃の芽



葉芽は細く、発芽能力は普通1年。せん定時には葉芽の頂上で切る

資料7 植え付け1年目のせん定（2本主枝整枝）



斜め下方に発生した副梢を選出し、主枝に対して上から見ると60度程度開き、横から見ると主枝に対して30度程度開きます（成木になって水平以上を開く場合は枝の吊り上げや支え棒等を使います（資料7）。

この続きは次号へ掲載します。

父たちが築きあげた 米麦産地を守りたい

岡 雅典さん

政津地区：米麦農家

「おか まさふみ」

昭和28年生まれ。東水田作経営者会議所属。妻、娘夫婦、孫の5人家族。趣味はゴルフ、釣り。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」。



農業について思いを話す岡さん

11月29日、政津地区の岡雅典さんにお話を伺いました。

父の経営を引き継ぐ

―就農したきっかけは

我が家は父の代から米麦農家で、地域の先駆けとして農業を始めました。私は昔から手伝いをしており、就職してからも兼業農家として続けていました。父が高齢となったこともあり、18年前に専業農家となりました。

―農業を始めてからは

父から引き継いだときは約40畝

程でしたが、現在は米麦合わせて約100畝を栽培しています。米は7品種を栽培しており、作業を分散させています。

―楽しいことは

農業は全て自分でやるため、年間を通して自由な時間が多いことがメリットです。逆に、田植えや稲刈りの農繁期は忙しく大変ですが、農業はおもしろいと感じています。

最近では、インターネット上で農業について写真や動画で発信をしている人が多くいるので、若い人も農業に興味を持ちやすく、おもしろいと思うってくれるのではないかと思います。

―栽培上でのこだわりは

数年前に外国の大型農家へ視察へ行き、先進的な技術を目の当たりにしました。できることからどんどん取り入れ、活用しています。また、極力農薬を使わないようにしています。経費削減につながることも減農薬のメリットの一つです。

父たちが築きあげた 産地を守りたい

―今後の抱負は

私が育ったこの政津地区の農地を残していきたいです。ベテラン農家が若い農業者へむけたサポートをしていかないといけないと思っています。

農業は地域の人に支えられて成り立っているものだと考えています。道路に土が落ちてしまったり、用水路に柵をつけてしまうと大型機械が入れなくなってしまうと地域に迷惑をかけてしまうことが多いです。田に水を引くだけでも、何人もの人が関わり、協力しているからこそ水が使えています。地域の方や仲間にも助けられ、支えられているので、農業を続けることができ、感謝しています。

父や地域の人たちが築きあげた産地を守っていくためにも、大型・中小農家関係なく、みんなで協力して、昨今の農業情勢を乗り越えていきたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



様々な機械を使いこなします



岡さんが丹精かけて作ったお米

ふなめし



JA岡山女性部監修

OKOME おこめレシピ RECIPE

材料 (4人分)

ふなミンチ …………… 200g
人参 …………… 1/2 本
油揚げ …………… 1枚
ごぼう …………… 1本
れんこん …………… 80g
里芋 …………… 200g
ネギ …………… 適量
酒 …………… 大さじ1
だし汁 …………… 3 カップ
油 …………… 小さじ1
A { しょうゆ …………… 50cc
みりん …………… 小さじ1
塩 …………… 適量
◎ご飯=1人分200g

作り方

- ①人参と油揚げは3～4cmの短冊切り、ごぼうはささがきにして水に浸けてアクを抜く。れんこんは5mm厚さのいちょう切り、里芋は1cm厚さの半月切り、ネギは小口切りにしておく。
- ②ふなミンチは酒をふり、油でしっかり炒りつける。油がまわったら、人参、ごぼう、れんこんを入れて炒め合わせ、だし汁を入れて煮る。
- ③野菜に火が通ったら、里芋と油揚げを入れ、〈A〉を加えて具にしっかり味がなじむまで煮る。
- ④丼にご飯をよそい、具と汁をたっぷりかけてネギを散らす。

agram

あぐろ
グラム

編集後記

国内最大級の 河口水門

今回のあぐろぐらむでは、岡山市中区沖元地区と東区升田地区を結ぶ百間川河口水門についてご紹介します。

水門は昭和水門と平成水門に分かれており、平成27年に増築された平成水門のゲート形式は「耐震性」、「経済性」、「景観性」を考慮してライジングセクターゲート(ゲートを回転して開閉する構造)を採用しています。ゲートは幅約33.4m、高さ約6.9mで、ライジングセクターゲートとしては国内最大級です。この河口水門は洪水対策、内水対策、高潮対策の3つの役割を果たしており地域の安全・安心な暮らしを守ってくれています。



編集担当 久山 隆一